

記録映画アーカイブ・プロジェクト／第2回ワークショップ
「たのしい科学 ～岩波映画の理科教室～」

上映作品解説

● 「凸レンズ」

【データ】1950年3月／17分／35ミリ／モノクロ

【スタッフ】製作＝小口禎三／脚本・監督＝小口八郎／撮影＝吉野馨治／録音＝田中啓二

【解説】中谷研究室プロダクションの最初の作品。この完成後、岩波映画製作所が正式に発足した。

● 「たのしい科学 冷蔵庫の話」

【データ】1960年7月／14分／16ミリ／モノクロ

【スタッフ】製作＝吉野馨治・綿貫敏男／脚本＝牧衷・八幡省三／監督＝富沢昌一／撮影＝中山正治／実験＝深田三郎

【解説】「たのしい科学」は日本テレビで放送されたテレビ番組。放送時間は毎週日曜日の午後6時から15分間。1957年12月1日の放送開始から1962年2月30日の放送終了までに239作品が製作された。スポンサーは八幡製鉄。岩波映画製作所が手がけた初めてのテレビシリーズで、吉野馨治を総合プロデューサーに、中谷宇吉郎博士が学術指導陣をそろえて製作された。今回上映の「冷蔵庫の話」は1960年7月24日完成のシリーズ第121話。

● 「科学教育映画体系 ものの燃える速さー化学反応と分子の衝突ー」

【データ】1967年5月／14分／16ミリ／カラー

【スタッフ】製作＝小口禎三／脚本＝牧衷／監督＝榛葉豊明／撮影＝関晴夫／録音＝桜井善一郎／実験＝深田三郎

【解説】「科学教育映画体系」は「たのしい科学」終了後、新しい科学教材映画を目指して製作されたシリーズ。ノーベル賞の湯川秀樹博士をはじめとする著名な科学者の監修を得て、1966年からカラーフィルムで製作を開始。1973年までに計24本が製作された。主にアメリカに配給目的で製作された自主作品。「もの燃える速さ」はシリーズの第4作目。1967年教育映画祭最高賞・文部省特選。

● 「科学教育映画体系 力のおよぼしあいー作用・反作用の法則ー」

【データ】1966年7月／14分／16ミリ／カラー

【スタッフ】製作＝高村武次／脚本＝牧衷／監督＝榛葉豊明／撮影＝今野敬一／録音＝桜井善一郎／実験＝深田三郎

【解説】「力のおよぼしあい」は同じく「科学教育映画体系」の第1作。1966年教育映画祭最高賞。